

CTBTフレンズ外相会合 茂木大臣ビデオメッセージ（日本語仮訳）

今年には核兵器が使用されてから75周年となります。広島と長崎で起きた悲劇は、二度と繰り返してはなりません。

21世紀に入ってから、ほぼ全ての国が核実験モラトリアムを遵守しています。北朝鮮による核実験に対する全世界的な非難は、核実験の禁止に対する規範意識の高まりを示すものでもあります。CTBTの発効促進に取り組み、核実験を防ぐためにCTBTの監視能力を強化しなければなりません。

人材育成は、CTBTの検証体制の強化の鍵となります。1996年以来、日本は79か国から271名の研修生を受け入れ、国際監視制度業務に必要な技術を提供しています。我々は引き続きこのような努力を行っていきます。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中であっても、核兵器のない世界に向けた我々の志は、決してひるんではなりません。CTBTフレンズのメッセージが我々の共通の目標の実現に貢献することを願います。

（了）